

<自転車の安全利用について>

【調査の目的】

自転車は、通学、通勤、買い物などの身近な交通手段として、子供から高齢者まで幅広い年齢層に利用されています。

しかしながら、不幸にして、自転車乗車中に事故に遭い、亡くなられた方の約6割は頭部に致命傷を負っていたというデータがあります。

このような中、令和5年4月1日より改正道路交通法が施行されたことにより、全ての自転車利用者について、乗車用ヘルメットの着用が努力義務となりました。

また、そのことに伴い、本県においても、「福岡県自転車の安全で適正な利用の促進及び活用の推進に関する条例」を一部改正したところです(※)。

つきましては、道路交通法や自転車条例の改正の認知度、自転車乗車用ヘルメットの着用などについて、ご意見をお聞かせください。今後の施策の参考とさせていただきます。

【活用状況】

・自転車乗車用ヘルメットの着用を促進するための参考資料として活用。

・効果的な広報啓発を行うための参考資料として活用。

(人づくり・県民生活部生活安全課)

※ 福岡県自転車の安全で適正な利用の促進及び活用の推進に関する条例とは

県民が安心して暮らし、活力ある地域社会の実現に寄与するため、以下の事項等を規定している条例

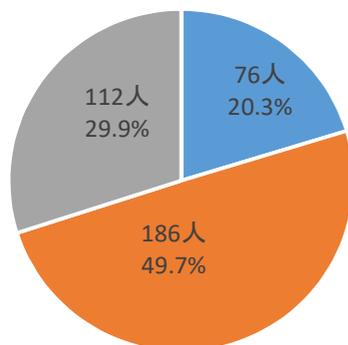
- (1) 自転車の安全利用の促進
- (2) 交通安全教育の充実
- (3) 自転車損害賠償保険への加入義務化
- (4) 事故の際の負傷者の救護・警察への報告義務
- (5) 自転車の活用推進

問1 あなたは、「福岡県自転車の安全で適正な利用の促進及び活用の推進に関する条例(福岡県自転車条例)」を知っていますか。

次の中から【1つだけ】選んでください。

(n=374 選択は1つのみ)

1 条例があることも、その内容も知っている	20.3%	(76人)
2 条例があることは知っているが、内容はよく知らない	49.7%	(186人)
3 条例があることも、その内容も知らなかった	29.9%	(112人)



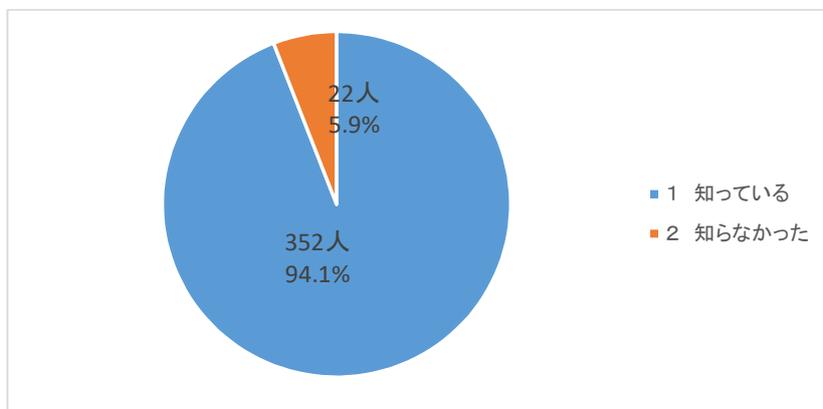
- 1 条例があることも、その内容も知っている
- 2 条例があることは知っているが、内容はよく知らない
- 3 条例があることも、その内容も知らなかった

問2 道路交通法の改正(令和5年4月1日施行)により、全ての自転車利用者に対し、乗車用ヘルメット着用の努力義務が課されました。あなたは、乗車用ヘルメット着用の努力義務化についてご存知ですか。

次の中から【1つだけ】選んでください。

(n=374 選択は1つのみ)

1 知っている	94.1%	(352人)
2 知らなかった	5.9%	(22人)



問2-2 (問2で「知っている」を選んだ方にお聞きします。)

あなたは自転車利用者に対し、乗車用ヘルメット着用の努力義務が課されたことをどのように知りましたか。

次の中から当てはまるもの【全て】を選んでください。

(回答件数589件、複数選択可)

1 チラシ・ポスターを見て知った	9.8%	(58人)
2 インターネットで知った	19.7%	(116人)
3 テレビ・新聞などのメディアで知った	52.5%	(309人)
4 家族・知人等から聞いた	10.0%	(59人)
5 学校・職場で聞いた	7.0%	(41人)
6 その他(次の設問で具体的に記入してください。)	1.0%	(6人)

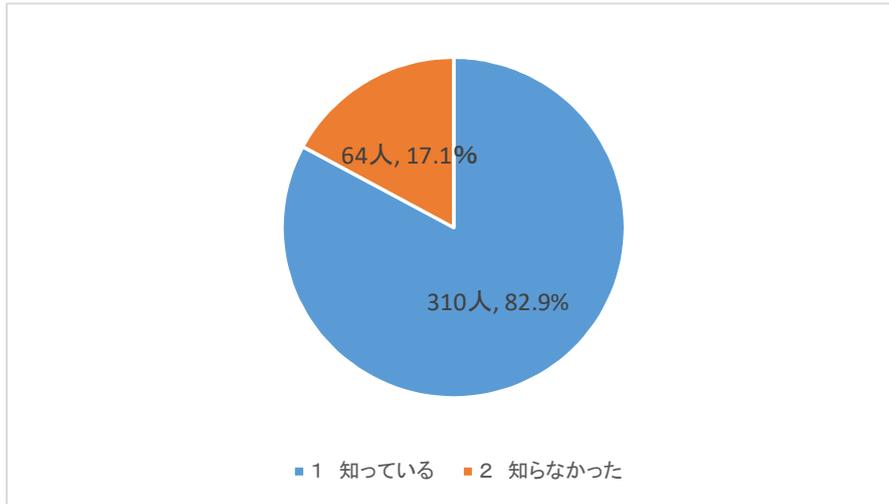


問3 自転車乗車中に事故に遭い、亡なられた方の約6割は頭部に致命傷を負っていた、また、ヘルメットの着用により致死率が約4分の1に下がるというデータがあります。あなたは、自転車乗車中の事故について、頭部を守ることの重要性をご存じですか。

次の中から【1つだけ】選んでください。

(n=374 選択は1つのみ)

1 知っている	82.9%	(310人)
2 知らなかった	17.1%	(64人)



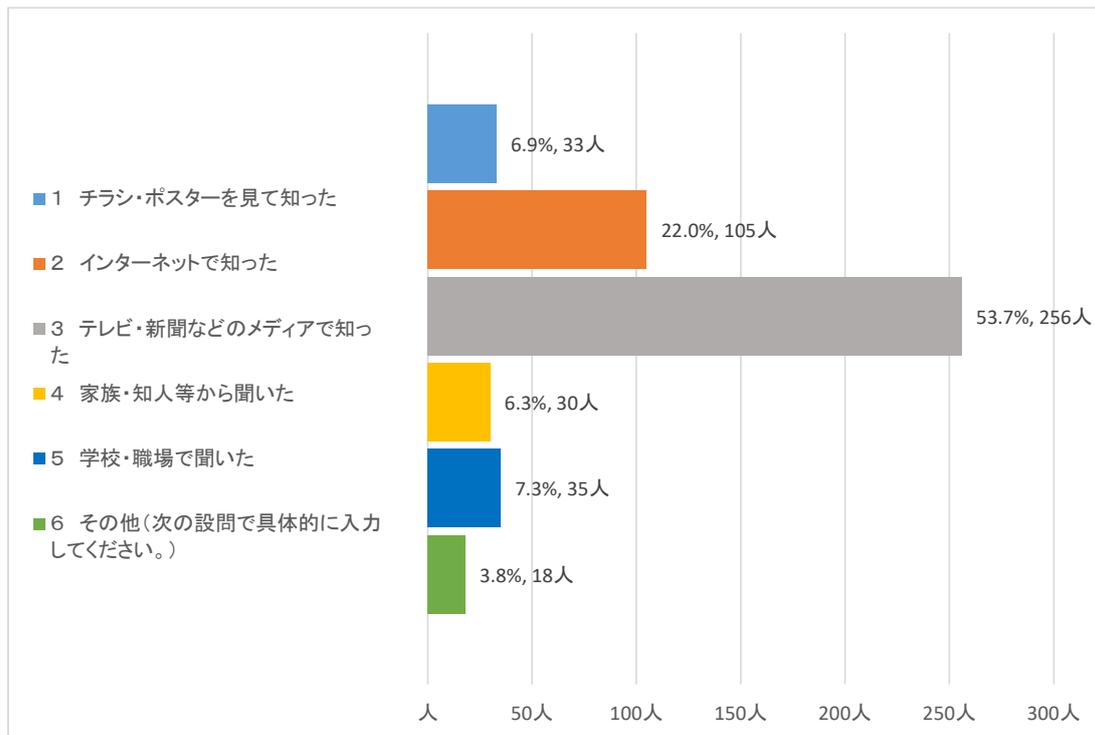
問3-2 (問3で「知っている」を選んだ方にお聞きします。)

あなたは自転車乗車中の事故について、頭部を守ることの重要性をどのように知りましたか。

次の中から当てはまるもの【全て】を選んでください。

(回答件数=477 複数選択可)

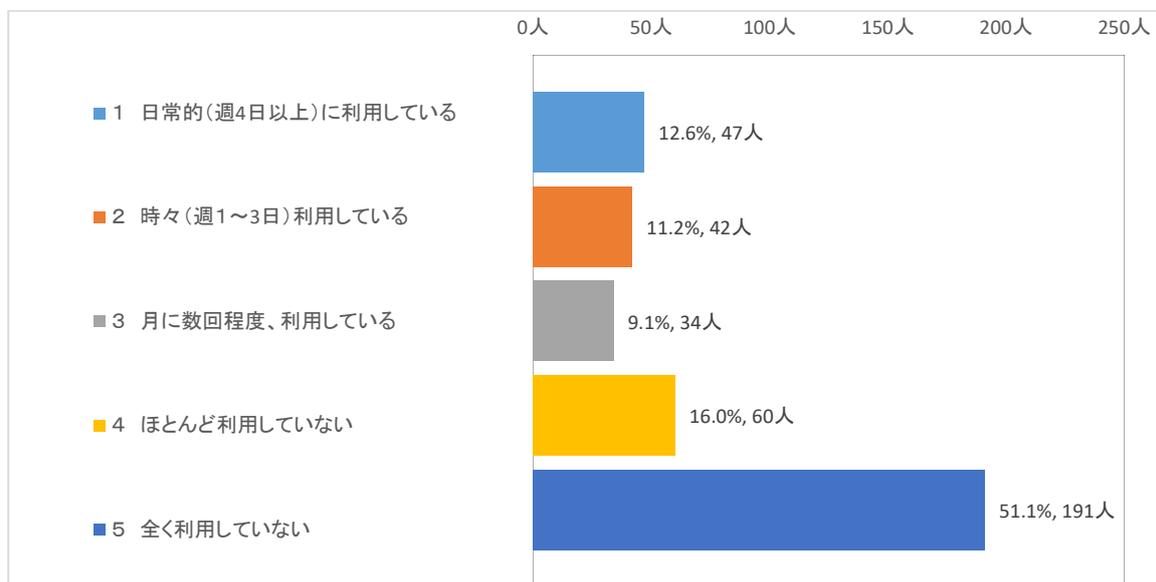
1 チラシ・ポスターを見て知った	6.9%	(33人)
2 インターネットで知った	22.0%	(105人)
3 テレビ・新聞などのメディアで知った	53.7%	(256人)
4 家族・知人等から聞いた	6.3%	(30人)
5 学校・職場で聞いた	7.3%	(35人)
6 その他(次の設問で具体的に入力してください。)	3.8%	(18人)



問4 あなたは、自転車を利用しますか。
次の中から最も当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

(n=374件 選択は1つのみ)

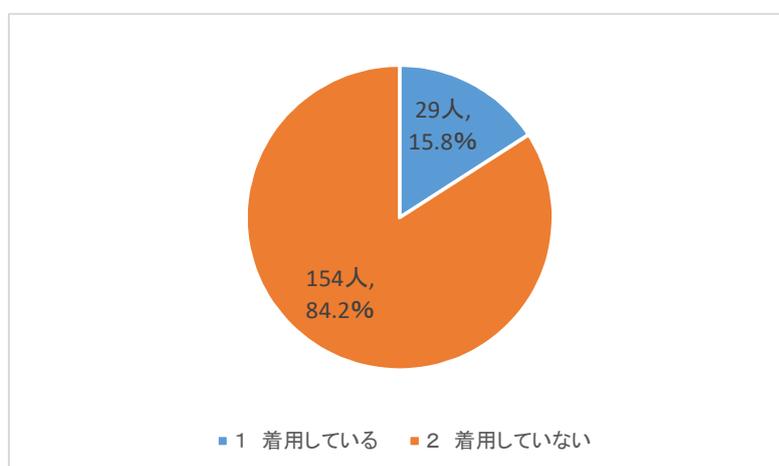
1 日常的(週4日以上)に利用している	12.6%	(47人)
2 時々(週1~3日)利用している	11.2%	(42人)
3 月に数回程度、利用している	9.1%	(34人)
4 ほとんど利用していない	16.0%	(60人)
5 全く利用していない	51.1%	(191人)



問5 (問4で「1」~「4」を選んだ方にお聞きます。)
あなたは、自転車乗車中に乗車用ヘルメットを着用していますか。
次の中から【1つだけ】選んでください。

(n=183 選択は1つのみ)

1 着用している	15.8%	(29人)
2 着用していない	84.2%	(154人)

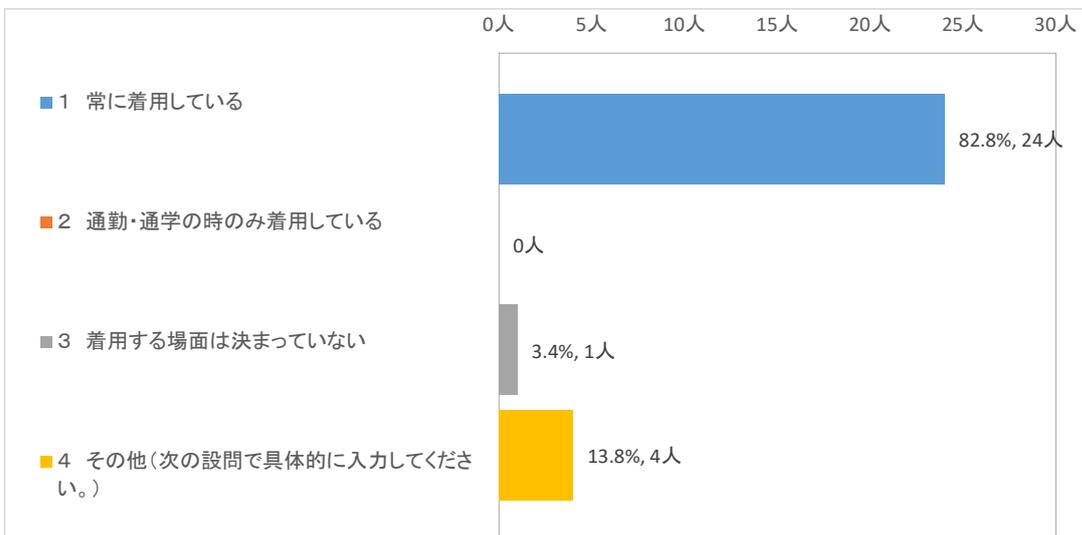


問5-2 (問5で「着用している」を選んだ方にお聞きます。)

あなたは、自転車に乗車する際、どのような場面で乗車用ヘルメットを着用していますか。
次の中から【1つだけ】選んでください。

(n=29 選択は1つのみ)

1 常に着用している	82.8%	(24人)
2 通勤・通学の時のみ着用している	0.0%	(0人)
3 着用する場面は決まっていない	3.4%	(1人)
4 その他(次の設問で具体的に入力してください。)	13.8%	(4人)

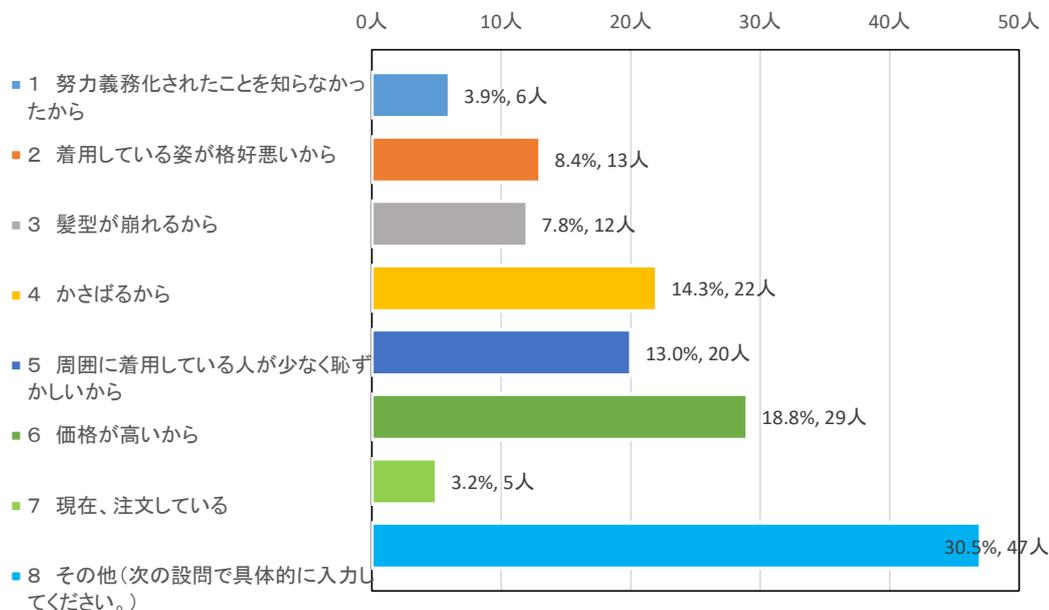


問5-3 (問5で「着用していない」を選んだ方にお聞きます。)

自転車乗車中に乗車用ヘルメットを着用していない理由についてお答えください。
次の中から【1つだけ】選んでください。

(n=154 選択は1つのみ)

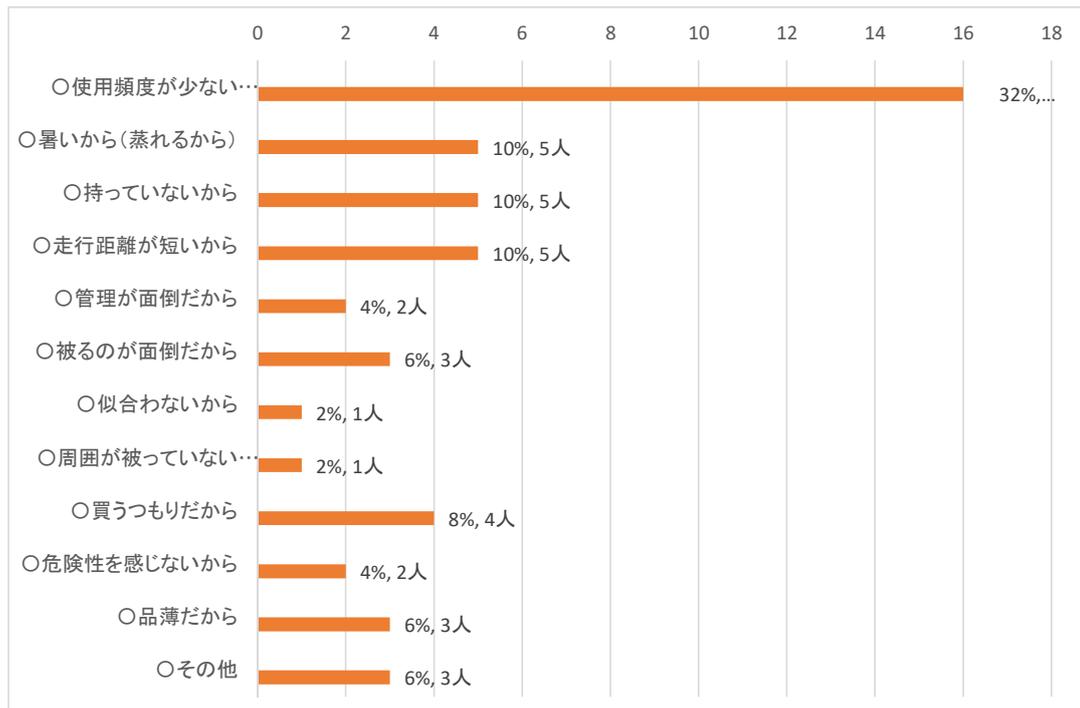
1 努力義務化されたことを知らなかったから	3.9%	(6人)
2 着用している姿が格好悪いから	8.4%	(13人)
3 髪型が崩れるから	7.8%	(12人)
4 かさばるから	14.3%	(22人)
5 周囲に着用している人が少なく恥ずかしいから	13.0%	(20人)
6 価格が高いから	18.8%	(29人)
7 現在、注文している	3.2%	(5人)
8 その他(次の設問で具体的に入力してください。)	30.5%	(47人)



問5-4 問5-3で「8 その他」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

(回答者:47人,複数項目についての回答有)

○使用頻度が少ないから	32%	(16人)
○暑いから(蒸れるから)	10%	(5人)
○持っていないから	10%	(5人)
○走行距離が短いから	10%	(5人)
○管理が面倒だから	4%	(2人)
○被るのが面倒だから	6%	(3人)
○似合わないから	2%	(1人)
○周囲が被っていないから	2%	(1人)
○買うつもりだから	8%	(4人)
○危険性を感じないから	4%	(2人)
○品薄だから	6%	(3人)
○その他	6%	(3人)



問6 自転車利用者に対して、自らの命を守るためには、ヘルメットの着用が必要との意識を持ってもらうための取組についてなど、意見がありますか。

ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

主な意見(抜粋)

<p>・マンガで伝える ・YouTubeの広告に差し込む ・InstagramなどのSNSの広告に差し込む など、若者が意識しなくても情報として目に入ってくるかたちで発信するのがいいと思う。</p>
<p>各所の駐輪場で、自転車事故に遭うと頭部外傷により致死率が上がることの内容を含むチラシ等を配付。 学校で教育、また保護者向けの講座等の実施。 職場での定期的な安全教育の実施。</p>
<p>自転車通勤や通学者がヘルメットを購入しやすいような仕組み(補助金や自転車とセット購入等)をつくらせたり、警察が学校で講習を開くなどしてもらえると良いと思います。</p>
<p>園の送迎の時に、子供にヘルメットを被せず載せている光景を目にする。園を通してチラシを配布して保護者に注意喚起してもらいたい。 また、小学生に上がると自転車に乗る機会も増えるので交通安全教室等で園児たち自身にも周知させておくのは大切だと思う。</p>
<p>ヘルメットは大事だと思いますが、強制でない状態ですので、ヘルメット購入補助制度や、自転車屋でのポスター掲示等、学校での啓蒙活動地道に対応していただければと思います。</p>
<p>自転車を売ったり、修理するときに乗車用ヘルメット着用の努力義務化や安全運転に関する冊子の配布などしたらよいと思う</p>
<p>自転車と人、自転車と車等、事故になりやすい状況や、事故の可能性が出る場面等啓発ビデオ、CMなどがあれば良いとおもう。 また、自転車マナー、ルールが良く知られていないと思う。</p>
<p>ヘルメットを購入したいが、お金とデザインと、どうすればいいかわからないまま放置してるというのが事実です。 この際なので、手軽でデザイン性もあるお手頃なものがあれば、帽子の様に複数所有して使い分けたいです。 また、使っている人には駐輪場割引や、何かの特典(ecoポイントみたいな)があれば参加する人も増えると思います。</p>
<p>自転車を置いた後のヘルメットの置き場に困る。持っていくと邪魔になるし置いていくと盗まれたことがあり不安。 駐輪場にヘルメットを入れるロッカーなどが設置されてほしいと思う。</p>

以前、中学校教諭だったので、自転車乗車時のヘルメット着用の重要性はよく理解している。警察が学校で行うDVD等を使用した生徒向けの講習会は有効だと思う。

また、子供がヘルメットを嫌がる最大の理由はダサいからだと思う。最近、オシャレなヘルメットが販売されているので、実物を生徒に提示したり、自転車通学生の学校指定のヘルメットを生徒の投票で選ばせた上で、指定にしたりする工夫も必要だと思う。

問7 自転車の安全利用について、これまでの設問以外に意見がありますか。

ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

主な意見(抜粋)

○自転車安全利用について

自転車の交通マナーが悪く、飛び出してくることが多いので、交通マナー徹底の呼びかけを行うべきだと思う。過去にベビーカーを押して歩道を歩いているときに、スピードを出している自転車と衝突しそうになったことがある。イヤホンをして運転している自転車利用者への安全呼びかけも行うべきと思う。

自転車は、歩行ではなく軽車両という認識が弱いと思いますので、その点を徹底していくことも必要かと思います(自動車でもなく、歩行者でもなく、勝手な自己判断での通行が多すぎると思います)

自転車利用者の歩道と車道の使用や信号の遵守についての規制を周知すべきだと思います。

今だに自転車の事故が多発している背景には道路の整備が行き届いていないのはもちろんですが、先述のヘルメット非着用や無灯火など乗り手の意識次第で防げた事故も多いはず。また、お年寄りがふらふらしながら道の真ん中を走る姿も見かけます。

今まで以上に啓発運動を増やすのも大切ですし、今は自動で点灯するモデルもあるので展示会+啓発イベントを開催してもいいかもしれません。福岡にはオシャレなサイクリング店が数多くあるので、形から入る若者をまず取り込むことで、徐々に高齢層にも浸透していくと思います。

日頃から感じていることですが自転車利用者のルール違反が目立っています。歩行者を無視した歩道通行や右側通行、交差点での信号無視、一時停止の無視、夜間の不灯火などがなくなるような取組が必要であると思います。

やはり若い子の携帯を片手に使用しながらながら運転がとても危険だと思う。又、イヤホンをしながらの運転も音が感じにくいので危険だと思います。年配の方は傘をさして運転はやめてもらいたいです。自分の身は自分で守る以外ないのですが相手を巻き込む危険が大いにあることをもっと知るべきです。

車に乗っていると、車道をフラフラと走る自転車や、周りを見ずに急に飛び出す自転車も少なくありません。自転車に乗る人にも、事故に遭わないための講習や、車からみた景色を知る機会があれば、事故をもらわないという意識が増えるのかなと思います。

○自転車専用レーンについて

自転車は歩道を走ってはダメだけど、車道走るのも危険なのはと日頃から思う。車を運転する側からしたら片側1車線の場合など追い越す際に怖いのもっと自転車用の道が増えたらと思います。

やむを得ず自転車での行動をするしかない方々が多いと思うのですが、道路構造的に「車道」と「歩道」に分かれているため自転車は車道を走るように言われても自動車側も自転車側も危うさを感じていると思います。
昨今自転車道が色分けされて作られている場所もありますが、まだまだ少ないですし、従来の車道の一部を自転車道としているのでお互いにスレスレの危うさを感じます。
歩道で乗るにもイヤホンを付けて歩いている人には危険を知らせるベルも聞こえずトラブルになることもあると思います。
自動車、自転車、歩行者それぞれのマナー、自分の行動がどういう状況で周囲に迷惑をかけることになるのかの想像を促すことが必要な気がします。

根本問題は、道路が自動車優先で設計されてきたことだと思います。そのため、自転車は車道を走るのは危険で歩道を走行しがちです。しかし、歩道は歩行者優先であるにも拘わらず、特に朝の通勤・通学の時間帯はかなりのスピードで走る自転車が、歩行者特に子どもや高齢者にとっては命に関わります。
自転車と歩行者が分離されれば、かなり危険は回避できるのではないのでしょうか。

○自転車安全利用教育、講習について

あらゆる世代の方が自転車に乗ります。小学生は、小学校に警察の方が来てくださり交通安全教室があります。
高校や大学にもそのような安全指導教室を企画したり、高齢者向けにも地域公民館等にて出向いて安全教室のような企画があったらいいなあと思います。

街中でみると、小学生や中学生はさまざまな経験値が不足しており、運転がとても危ないように思います。学校で交通安全教室をおこない、事故の恐ろしさを理解していただきたいです。

自分自身も子供時代に自転車を乗っていた時と、免許証を取得して以降とは気を付け方ががぜん、変わっている。運転側の心理や行動のイロハを知ること、子供でもある程度は危険度を知ることが可能だと思うので、小学校時代に自動車学校的豆知識として、公道での交通ルールを学ぶ時間を設けてみてはどうだろうか。

近所で外国人の集団が自転車通勤をしている現場をよく見る。
車道に膨らんで通行していたり、無茶な横断をしているときもある。
外国の方たちに日本の交通ルールを知ってもらうためにも、外国籍の方を沢山雇用している会社で講習会を行ってもらうことも必要だと思います。

子供達の自転車の乗り方が悪い場面をよく見かけます。
特に小学生の飛び出しや、後ろを見ずに道路を横断したりとても危険です。家庭での教育が大切だと思いますが、それが不可能な家庭もあるようです。小さい頃から自転車の安全利用を学ぶ機会が増えるといいですね。